

はまY_{YOU}

Vol.
32
2016.春号



2月1日、院内保育所が開所しました

アレルギー・呼吸器専門外来

診療日／木曜日午後

受付時間／午後1時半～4時半

診療時間／午後2時～5時

担当：なかがわ たけまさ
中川 武正 名誉所長

小児科外来

診療日／月・火曜日 午前・午後
水曜日 午前
木・金曜日 午前・午後
土曜日 午前

受付時間／午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間／午前9時～12時
午後2時～5時

担当：ふるくぼ かずひろ
古久保 和洋 医長



薬剤師・看護師・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士 募集中
訪問看護師・訪問リハビリセラピスト

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



CONTENTS

理念・基本方針……………	2
院長挨拶……………	2
デイケア(通所リハビリテーション) 事業について……………	3
在宅医療シンポジウムin白浜……………	4～5
退職のご挨拶……………	6
……………	
院内保育所がオープンしました！……………	7
2015年度院内研究発表大会を開催……………	8
病院機能評価受審を終えて……………	9
こころの部屋 ～メンタルヘルスについて～……………	10
……………	
患者さまの声……………	10
……………	
管理栄養士のおすすめレシピ……………	11

理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にした医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

みんなが、いつでも
あんなに、だれでも



院長挨拶

過日、知己の坊さんから「なぜ年をとると月日の経つのが早いのか」の説法を受けました。何故か。それは、「新しい出会いや発見がなくなる故である。日々、同じことの繰り返し、あるいは情報に対する感受性が低下するから、また、年をとると先のことにばかり予測を立てて怠惰に一日を過ごしてしまうからだ」ということでした。西洋にも、「主観的に記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く評価される」と心理学的に説明した“ジャンネーの法則”というのがあるようです（以下、Wikipediaより抜粋）。『簡単に言えば、「生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢に反比例する」というもので、例えば、50歳の人間にとって1年の長さは人生の50分の1ほどであるが、5歳の人間にとっては5分の1に相当する。よって、50歳の人間にとっての10年間は5歳の人間にとっての1年間に当たり、5歳の人間の1日が50歳の人間の10日に当たることになる』。これによると、人生の時間の折り返し点は20歳だそうで、件の坊さん曰く、『日々を長く過ごすには「何歳になっても新しいことに挑戦して新鮮味や刺激を感じるようにすべし。」』



白浜はまゆう病院
院長 谷口 友志

さて、また、新たな年度を迎える時節となりました。ついこの前、2015年度を向えるにあたっての挨拶文を認めたばかりと思っていましたが、もう2016年度が眼前に迫っております。まさにジャンネーの法則です。

来年度は診療報酬改定の年ですが、全体として0.84%の引き下げが決定しております。医療を取り巻く環境はますます厳しさを増す状況となっております。また、団塊の世代の方々がすべて後期高齢者となる2025年に向けての地域医療構想策定（地域に見合った病床の再編（誤解を恐れず直言すれば、当地方では在宅医療の推進、急性期病床、慢性期療養病床の削減））に向けた取り組みが始まっております。こうした状況を鑑みながら当院の将来の構想を定めていかなければなりません。

一方、明るいこともあります。本年2月より、待望の白浜はまゆう病院院内保育所が開設されました。4月からは通所リハビリテーション（デイケア）の運営が始まります。また、久々に若手（と申しましても経験年数10年以上のベテランですが）の内科医が2名、就任する予定となっております。

皆様方のご支援を賜りながら、地域に密着した安心して受診していただける病院作りに職員一同一層励んでまいりますので、今後とも今までと相変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

白浜はまゆう病院デイケア （通所リハビリテーション）事業について

企画室

白浜はまゆう病院では、4月よりデイケア（通所リハビリテーション）の運営を開始します。

この事業については、白浜町社会福祉協議会が運営しておりましたデイサービス事業が2016年3月をもって終了することを受け、白浜はまゆう病院がデイケア事業として引き続き運営を行なうこととなります。

デイサービスからデイケアへと、事業形態は変わりますが、入浴や食事、レクリエーションといったデイサービスの良い部分は残しつつ、リハビリテーションや機能訓練等のサービスを新たに加え、心身の状態改善や認知症の進行予防なども行ないます。

従来のデイサービスのもつアットホームで和やかな雰囲気は保ちつつ、医師や理学療法士の指導の下で利用者様に必要に応じたりハビリテーションの提供を行ないます。

また、白浜医療福祉財団が運営する白浜はまゆう病院や訪問看護ステーションたんぽぽ等とも連携し、利用者様へのより充実した医療・介護サービスの提供に努めて参ります。

実施地域 白浜町・上富田町・旧田辺市
営業日時 月曜日～金曜日 8:30～17:30

1日のスケジュール例

8:30	送迎
9:00	健康チェック・うがい・水分補給 リハビリ・体操・レクリエーション・入浴
12:00	昼食 リハビリ・体操・レクリエーション・入浴
15:00	おやつ
15:30～	送迎



デイケアとは入浴や食事等のサービスのほか、
医師やリハビリスタッフによる機能回復の訓練を行います。

自己負担の目安（6時間以上8時間未満のサービス）
たとえば…要介護2・週2回（月8回）利用の場合
7,000円（個人負担1割の場合）+各種加算+食費他

2016年在宅医療シンポジウムin白浜

副院長・地域ケア室長 國部 久也

白浜はまゆう病院では、和歌山県からの基金を応募受託し、2年間にわたり在宅医療連携拠点事業を行ってきました。

事業内容には

- ①地域における連携体制の構築
- ②24時間365日対応の在宅医療提供体制の構築
- ③在宅医療に関する普及啓蒙活動の実施
- ④地域の医療・福祉資源の把握および活用
- ⑤地域医師会・市町村・保健所との具体的な連携

を掲げ、情報通信端末を利用した在宅医療ネットワークの構築や地域での勉強会の開催、多職種による事例検討会や研修会を行ってきました。

また白浜町内の医療資源マップ（町内住民に配布）の作成、在宅医療に関し先進的な取り組みを行っている専門家を招請して講演会の開催なども行ってきました。これらの取り組みに関しては必ずしも満足のいく状況ではなかったかもしれませんが、一定の成果を得たと考えています。

しかしマスコミの報道やメディアを通じた発信では、『在宅医療』という言葉をよく耳にするものの、住民の皆様に正確に内容や實際を把握していただいているのか疑問を感じ、心配なところです。事業を行って

いくなかで、住民の皆様にとって、“在宅医療ではどんなことができるのだろう？”“どれくらいの費用が必要なのだろう？”など多くの不安や疑問を抱えておられるのではないかと推察されました。



在宅医療マップ（一部抜粋）

そこで、今回2016年1月17日にラフォーレ南紀白浜にて『2016年在宅医療シンポジウム-いっしょに在宅医療の明日を考えてみませんか？-』のテーマにて在宅医療に関する講演会・勉強会を開催しました。日曜日の午後からの開催にも関わらず、地域住民の皆様を中心として約250名の方に参加していただき、大変な盛況ぶりでした。

白浜医療福祉財団 井澗誠理事長（白浜町長）に開催のご挨拶をいただき、松尾晃次副理事長からシンポジウム開催にあたっての意義などについてお言葉をいただきました。

シンポジウムは西牟婁郡医師会副会長 三谷健一郎先生（三谷医院院長）、田辺西牟婁歯科医師会会長 初山昌平先生（初山歯科医院院長）、田辺薬剤師会副会長 上西浩子先生（上西薬局管理薬剤師）、訪問看護ステーションたんぽぽ 安井詳子所長の4人の講師の先生方にそれぞれの立場から地域の在宅医療の現状と今後の展開について、ご講演をいただきました。その後パネルディスカッションの形



で、参加者の皆様からご質問をいただき、各講師の先生方にお答えをいただく形を取りました。井濤理事長も最後まで参加いただけたことで、町長にも参加していただく形で熱い討論が行われました。

シンポジウムの主催側や講師の先生方の共通した感想は、地域住民の皆様が、在宅医療に対して非常に関心が高いというのが第一印象でした。この点に関しては、講演終了後のアンケートからも推察されました。



少子超高齢化の時代を迎え、2025年問題など多くの課題が山積している中で、在宅医療に関して、情報不足の感が否めません。

在宅医療は、住み慣れた自宅で家族が身近にいるという安心感、食べたい物を食べ、自由な空間と穏やかな時間で過ごせる毎日、そして多職種から構成されたスタッフがコミュニケーションを大切に

て、一人ひとりに適切なオーダーメイド医療を提供し支えてくれることが大きなメリットと考えられます。地域では、理想を叶えるためにはひとり世帯の方や後期高齢者だけの世帯などへの対応など介護と医療の連携をどう図っていくかといった大きな問題もありますが、多くの方々に知恵をだしてもらい、理想の実現と安心・安全な地域生活を何とか実現できるように考えていかなければならないことも痛感しました。

今回のシンポジウムを行った後での反省点から、今後は在宅医療の理解と普及のために、白浜町内で地域分けを行い、地域内の皆様に多数参加していただけるような小さな講習会などを広く行っていきたいと考えております。

医療は日進月歩で先進的な医療は長足の進歩を遂げています。一方、国による医療費削減の方向性は明確で、高齢多死の時代を迎えようとしている中で、在宅医療が大きなキーワードになっていくことも間違いない事実です。

今後も、在宅医療の普及を大きなテーマとして、地域の特性を十分に考慮しながら、行政・地区の医師会・歯科医師会・薬剤師会などと協力しながら、地域の皆様の健康と福祉推進に邁進していこうと考えております。

退 職 の ご 挨拶

3月31日をもって、下記3名の医師が退職されます。皆様、有難うございました。

外 科

寒川 玲 医長

3年という短い期間ではありましたが、ここ白浜でかけがえのない時間を過ごすことができました。就任当初、右も左も分からない状態の中でとにかく無我夢中に毎日を送っていました。時間とともに徐々に周りの状況が見えるようになってきましたが、その間、周囲の方々には多大な迷惑をかけたことと思います。戸惑う自分を親身にサポートして下さったスタッフの皆様方には今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

私自身、少しでも地域の医療に貢献できればという思いもあり、院内での診療は勿論のこと、院外の活動にも積極的に参加させて頂きました。そうした診療や取り組みの中で、もっとやれたのではないかと、もっと他にもやり方があったのではないかと自問自答することも正直ありました。そんな模索の毎日ではありましたが、この白浜はまゆう病院で得た経験は他には替え難く、そして自分にとって大きな財産となったのは間違いありません。

至らない点がたくさんあったとは思いますが、支えて下さった病院スタッフの皆様、いつも温かく接して下さった地域の皆様、本当にお世話になりました。3年間ありがとうございました。

外 科

小西 智規 医師

肌寒い日が続きますが、少し春の訪れも感じるようになって来ました。

今回、大学病院への転勤が決まり異動になりました。12月から赴任させていただき、日々診療しておりますと、白浜の環境がそうさせるのか患者様、医療スタッフの方々どなたも温和で物腰が穏やかな方々ばかりで非常に心穏やかな時間を過ごすことができました。

ご迷惑をお掛けすることもありましたが、周りの方々に支えていただきながら皆様のために少しでもより良い医療を提供することが出来たのかなと思います。4ヶ月という短い期間でしたが大変お世話になりました。

整形外科

安野 翔平 医師

私事ではありますが、2016年3月をもって白浜はまゆう病院から転勤することになりましたので、僭越ながら挨拶をさせていただきます。早いもので、白浜はまゆう病院に赴任して2年が経過しました。この2年間は小池先生、岩切先生、他の科の先生方、看護師さん、事務の方など数え切れないほど多くの病院スタッフに支えていただき、何とか任期を終えることができました。病院に来られる患者様、患者様のご家族様、また病院とは無関係の地域の皆様にも優しく接していただき、非常に充実した白浜生活を過ごすことができました。皆様の笑顔にどれだけ励まされたか。この2年間で白浜の街、白浜の人達のことが本当にめっちゃくちゃ大好きになってしまいました。

白浜を離れるのは寂しいですが、今後は白浜で頂いた数々の思い出や経験を目いっぱいいかして、引き続き一生懸命励みたいと思います。最後になりましたが、地域の皆様のご健勝を心よりお祈りしております。

院内保育所がオープンしました！

総務課長 布袋 仁也



木のぬくもりにあふれた室内になっています

今年2月1日、当財団の職員が利用する院内保育所がオープンしました。

実施設計・施工監理は株式会社金嶋一級建築設計事務所様、建築はSUN頼' S様がご担当され、木をふんだんに使ったぬくもりにあふれる保育所ができあがっています。運営は全国200箇所以上の事業所内保育所運営実績がある株式会社アイグラン様に委託しています。

現在のところ児童数は5名、保育士は常勤2名パート2名の体制です。オープンしてで保育士も病院もなれない点が多いですが、子供たちはいつも元気に遊び、食べ、昼寝して、すくすくと育っていつてくれています。身近にそういう元気な子供たちがいるので、私

たち職員もその子供たちから元気をもらえる、そんな気持ちになっています。

この院内保育所の運営を通じて、育児と仕事を両立できる職場環境を整備し、看護師はじめ病院運営に必要な人材を確保することにより、地域のみなさまが安心していつでも受診できる病院づくりを進めていきます。

今後は、この保育所には「白浜はまゆう病院院内保育所」という名前しかないで親しみやすいかわいい名前をつけたいと思っています。また、より多くの子供たちを受け入れてもっともっとにぎやかな保育所にしていきたいと思っています。さらに、預け入れのニーズをふまえ、院内保育所としての機能を最大限発揮できるよう、運営内容も適宜見直ししていければと思っています。

地域のみなさまにおかれましては、子供たちが元気に安全に健やかに成長していけるよう、どうかあたたかい目で見守っていただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



子供たちが過ごしやすいように設計されています

2015年度院内研究発表大会を開催

2016年3月3日(木) 18時30分より和歌山県情報交流センターBig-Uにて院内研究発表大会を開催しました。町外施設での開催となりましたが、来賓の方も含め221名に参加いただきました。

研究発表に先立ち勤続10年・20年の永年勤続表彰を行いました。表彰者は次の方々になります。



理事長より表彰授与

永年勤続表彰 被表彰者氏名

勤続10年

外来看護師	片家 章江	訪問看護ステーションたんぽぽ
西富田クリニック看護師	中地 佐妃	看護師 矢野 和子
検査室主任臨床検査技師	森中 里佳	神経内科部長・リハビリテーションセンター長
内科部長	松本 潤	小口 健
副院長・看護部長	東 直子	医療の質管理室事務員 山田友紀子
本館5階病棟主任看護師	林 克晃	副院長・診療技術部長・地域ケア室室長
南館4階病棟看護師長	瀬田 京子	國部 久也
		日置診療所所長 船曳 秀

勤続20年

外来副主任看護師	谷峯 朋子	本館3階病棟准看護師	澤田二三子
日置診療所副主任看護師	上田 美佐	医事課事務員	野口 文
放射線科科长	太田 整	鮎川診療所准看護師	畑本賀代子
リハビリテーション室統括室長	中本佳代子	リハビリテーション室助手	東 規子
情報管理室・医療の質管理室室長	尾崎 伸次		

研究発表



1. 当院の回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の夜間トイレ自立に関するアンケート リハビリテーション室 杉山 徹勇
2. 医師事務作業補助に関する当院医事課の取り組み 医事課 城ヶ辻 浩
3. 在宅医療拠点事業の実践報告 地域ケア室 木村 育
4. 病棟スタッフの退院調整に関する意識の向上を目指して 南館5階病棟 北尾 仁美
5. X線TV装置更新について 放射線科 太田 整
6. 腹腔鏡下仙骨腫固定術後に過活動膀胱の症状が改善した骨盤臓器脱の1例 医局 川嶋 秀紀

講演

「病院における防災対策」

講師 神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科
教授・医学博士 中田 敬司 先生

今年度は、JICA国際緊急援助隊(JDR)医療チームメンバーとしてコロンビア・トルコ・台湾・イラン・スリランカの地震及び津波災害救助活動に従事し、厚生労働省DMAT事務局参与や日本集団災害医学会の理事も務められている中田 敬司先生をお招きし、災害発生時の初動体制や優先事項、CSCATTT等、病院の防災対策についてお話いただきました。



中田先生に熱演いただきました

実際に災害医療現場を多く経験してこられた先生のお話に、参加者は皆、真剣に聞き入っていました。

南海トラフ大地震が懸念される中、災害は他人事ではなく、実際にその状況になったときに病院としてどのような対応ができるか、またその為にどのような準備が必要なのか改めて考えさせられる良い機会となりました。ご講演頂いた先生には心より感謝を申し上げます。

病院機能評価受審を終えて

人間ドック・健診センター 副課長 志波 恵太

2016年2月17日、18日の2日間、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価訪問審査が実施されました。この訪問審査の受入れまでの間、勉強会を含めて40回を超える病院機能評価受審本部会議が開催され、受審対策についての検討会議が行われました。第1回本部会議が開催されたのは、2015年1月16日でした。

本部会議には松尾顧問、谷口院長をはじめ委員の皆様や各部署長に出席いただき、4領域にわたる各項目について、現状の確認と改善が必要な項目について協議が行われました。

事務局は、この本部会議開催前に各部署や委員会の関係者へのヒアリング活動を実施しましたが、各専門職の皆様が医療サービスの質の改善のためにさまざまな努力を積み重ねていることを改めて学びました。

具体的な改善活動の一例として、各種業務マニュアルの改訂や院内情報システムを活用した各種情報の発信とその情報内容の拡充が図られました。これらの改善活動により、多職種間のコミュニケーションが図られ多職種連携など医療サービスの質の向上につながったものと思います。

今回の審査では、代表的症例に基づくケアプロセス調査が導入されました。この調査では、あらゆる職種の病院関係者が一人ひとりの患者様としっかり向き合い、個性を重視した医療サービスの提供を実践しているか、常に患者様の視点に立ったうえでの説明と同意の活動が丁寧に繰り返されているかが求められていることを強く感じました。このケアプロセス調査の対象病棟となりました本館3階、本館5階、南館5階、南館3階の職員の皆様方は本当にお疲れさまでした。

これから2025年に向けた病床機能の再編など、当地域においても医療環境を取り巻く変化が予想されますが、当院の強みをさらに伸ばし、今後、各委員会活動を通じて組織的に部門横断的に改善活動を継続することで、チーム医療を意識して常に医療サービスの質の向上を図らなければなりません。

日常業務が多忙な中、今回の受審を乗り切るために支えていただいたすべての皆様に感謝します。ありがとうございました。



こころの部屋

～メンタルヘルスについて～

心理相談室 臨床心理士 森口 浩司

昨年(2019年)の12月1日よりストレスチェックが義務化されたということをご存知でしょうか。従業員数50人以上の事業場では1年に1回ストレスチェックを行うことが義務化されました。これはストレスチェックを行うことで強いストレス状態にいる人を発見し、精神的な症状が出る前に対処をし、働きやすい職場にしていることを目的に行われます。

こういったことにも見られるように近年メンタルヘルスへの関心はますます高まっています。うつ病という言葉は一般的な言葉になってきているように感じますし、テレビや書籍などで精神的なことが話題となることも多く見られ、精神的な問題に関する壁というのは薄れてきているように感じます。

みなさんは日ごろ自分の健康状態に気をつけておられますか。身体の健康と同じようにこころの健康についても意識を向けていただけたらと思います。身体の病気になると気持ちが沈むということがあるのと同じで精神的に不安定になると身体の病気にかかりやすいということがあります。なかなか寝つきが悪い日が続いたり、肩こりから頭痛が起こってきたり、精神的な不安定が続くと身体に反応が出てきて、免疫力が下がり、風邪を引きやすくなったりもします。

ストレスはみなさんの身近にあるものですので、ストレスが強くなりすぎないように自分のこころ状態にも目を向けていただければと思います。



カウンセリング風景

カウンセリング外来のご案内

対 象	中学生以上で言葉でのコミュニケーションが可能な方
受 付 方 法	完全予約制
予 約 受 付	月～水、金曜日 9:00～17:00 電話番号 0739-43-6200(代表)
カウンセリング時間	時間に関しましてはご相談に応じます。

患者さまの Voice



売店で食事できるようにして下さい。
座る椅子が無いので困ります。



地下の売店の側ではありませんが、本館1階受付裏の自動販売機コーナーにテーブルと椅子を置いておりますので、飲食時にご利用いただければと存じます。また、受付前窓際のテーブル席についたて等を設置して、お食事や読書のためのスペースを設けております。お気軽にご利用下さいませ。

病院長

私たちが
おすすめする

カラダにいい とっておきレシピ

第24回

～白身魚と春野菜の和風ペペロンチーノ～

ぽかぽかと日差しの心地よい季節になりました。

春の野菜をたくさん使ったパスタはいかがですか。

油で炒めることでかさが減り、よりたくさん野菜を食べることができます。

少し大きめに切ることで、満足感もアップしますよ！



食養科 管理栄養士
茶端 舞

白身魚と春野菜の和風ペペロンチーノ



材料(1人分)

スパゲティ	1束
白身魚	80g
清酒	5g
食塩	0.2g
春キャベツ	70g
たけのこ(水煮でもOK)	30g
ブロッコリー	30g
うすいえんどう	10g
にんにく	5g
赤唐辛子(スライス)	1本
こいくちしょうゆ	3g
食塩	0.5g
こしょう	適量
オリーブ油	15g
ブラックペッパー	適量

栄養価：エネルギー…416kcal
たんぱく質…22.6g
脂質…16.8g
食塩相当量…1.8g
食物繊維…5.4g

作り方

- ①白身魚は塩と酒を軽く馴染ませてからグリルで焼き、身をほぐしておく。
- ②キャベツはざく切りにする。たけのこも少し大きめに切る。
- ③小房に分けたブロッコリー、さやから出したえんどうはさっと茹でておく。
- ④にんにくは包丁の腹で潰す。
- ⑤フライパンにオリーブ油とにんにくを入れて熱し、オリーブ油に香りが付いたらキャベツとたけのこを炒める。
- ⑥キャベツに火が通ったら、白身魚とブロッコリー、えんどう豆を加え、さっと炒める。
- ⑦茹でたスパゲッティと唐辛子を入れて、軽く炒めたら、塩とこしょう、しょう油で味を調える。
- ⑧皿に盛り、ブラックペッパーをふれば出来上がり。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診療科			月	火	水	木	金	土
内科	内科1(初診)	午前	伊藤 揚 荘	松本 潤	伊藤 揚 荘	松本 潤	赤松 功 博	高村 竜一郎
		午後	(当面の間、休診)					
	内科2(再診)	午前	赤松 功 博		松尾 晃次	松尾 晃次		
		午後	中村 信男					
	内科3(再診)	午前			赤松 功 博			
		午後		阪越/須原		山崎 幸茂		
	内科4(再診)	午前						
		午後	松本 潤	木下 正博		中川 武正		
	内科5(再診)	午前		伊藤 揚 荘	谷口 友志	伊藤 揚 荘	谷口 友志	
		午後			谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
	外科	午前	当番医	宮前 真人	福永 智彦	宮前 真人	宮前 真人	当番医
	脳神経外科	午前				中北 和夫		
整形外科			午前	織田 一 貴	織田 一 貴	小池 達也	織田 一 貴	岩切 健太郎
装具外来			午前	装具外来		装具外来		
小児科	午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
	午後	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	
婦人科	午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	
	午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	
皮膚科	午前							県立医大
	午後		県立医大					
眼科	午後			井上/井上		井村 良子		
耳鼻咽喉科	午後					県立医大		
循環器外来	午後	中村 信男	阪越/須原					
呼吸器外来	午前				松尾 晃次	松尾 晃次		
	午後							
アレルギー・呼吸器専門外来	午前							
	午後					中川 武正		
泌尿器科外来	午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典	当番医	
	午後	川嶋 秀紀		木村 泰典				
泌尿器科専門外来	午後		川嶋 秀紀			川嶋 秀紀		
神経内科・ リハビリテーション専門外来	午前	小口 健	廣西 昌也	中崎 繁明		中崎 繁明		
	午後	中崎 繁明	石口 宏		小口 健			
リウマチ外来	午前		小池 達也		小池 達也			
膠原病・糖尿病専門外来	午前		伊藤 揚 荘		伊藤 揚 荘			
消化器専門外来	午前				谷口 友志	谷口 友志		
	午後				谷口 友志	谷口 友志		
循環器・高血圧専門外来	午前							有田幹雄(月2回)

※火曜日午後 内科3診…第1(阪越 信雄)/第3(須原 均) ※眼科…第1・3・5(井上 晃宏)/第2・4(井上 貴久彦)
※診療担当医が変更になることがあります。ご了承下さい。 2016.4.1～

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	※診療時間外(夜間・休日)に 具合が悪くなったときは、 日時に関係なく受付します ので、白浜はまゆう病院へ 電話でご連絡ください。
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
循環器外来(月)	14:00～16:30		
循環器外来(火)	13:00～16:30	13:30～17:00	
皮膚科(火)	13:00～15:45	13:30～16:00	
眼科(水)	13:30～15:30	14:00～16:30	
耳鼻咽喉科(木)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30～11:00	9:00～12:00	



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院 長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】info@hamayu-hp.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

- 西 富 田 ク リ ニ ッ ク
- 鮎 川 診 療 所
- 日 置 診 療 所
- 三 舞 診 療 所
- 川 添 診 療 所
- 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン た ん ぽ ぽ

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3

〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1

〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地

〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678

TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005

TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192

TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001

TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037

TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682